

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2025 年 No.4

バンコク通信

～タイのスタートアップエコシステムの現状～

アセアントピック（ベトナム）

～コンビニエンスストア市場の現状と今後の展望（ハノイ）～

アセアン駐在員コラム

～シンガポール リサイクル事情（飲料容器デポジット制度）～

～「POPMART グローバルランドマークストア」がオープン！～

～ベトナムの伝統的行事「中秋節（Tết Trung Thu）」～

ニュース一覧



常陽銀行



足利銀行



バンコク通信

～タイのスタートアップエコシステムの現状～

- 2021年にタイ初のユニコーン企業となった物流会社「Flash Express」。同社の成長の軌跡や、創業者の人生をモデルにしたタイドラマ「Mad Unicorn」が、今年5月に動画配信サービスNetflixで配信され、話題となりました。
- そこで今回のレポートでは、タイにおけるスタートアップエコシステムの現状とその特徴についてご紹介いたします。

図1 Global Startup Ecosystem Index 2025

国名	世界ランキング	ASEAN 内ランキング
シンガポール	4 位	1 位
中国	13 位	－
日本	18 位	－
インド	22 位	－
マレーシア	44 位	2 位
インドネシア	45 位	3 位
タイ	53 位	4 位
ベトナム	55 位	5 位
フィリピン	64 位	6 位

(出所) StartupBlink の資料を基に筆者作成

タイのスタートアップエコシステムの国際的評価

スタートアップ支援情報プラットフォーム「StartupBlink」が発表した「Global Startup Ecosystem Index 2025」¹において、タイは世界 53 位（ASEAN 内第 4 位）にランクインしています（図 1）。本インデックスは、スタートアップ数、法制度の安定性など 40 を超える指標によって評価されています。

タイが国際的な評価を十分に得られていない背景には、人口 10 万人あたりのスタートアップ数が約 1.5 社と経済協力開発機構（OECD）平均（約 40 社）を大きく下回っていることに加え、未成熟な起業文化、市場規模の相対的な魅力の乏しさなどが複合的に影響していると考えられます。

実際、OECD によると、ASEAN のベンチャーキャピタル（VC）投資額（2021～23 年）において、タイは約 4%に留まり、域内第 4 位とされています。こうした点からも、投資家から高い関心を集めている国とは言い難い現状にあります。

しかしながら、2016 年に国家戦略「Thailand 4.0」（後述）が策定され、スタートアップが新たな成長エンジンに位置付けられて以降、政府・民間・関係機関が連携し、スタートアップエコシステムの育成に積極的に取り組んでいます。物流企業「Flash Express 社」を皮切りに、2025 年 7 月時点で計 5 社のユニコーン企業が誕生していることから、タイのスタートアップエコシステムは着実に発展していることがうかがえます。

True Digital Park



タイのスタートアップエコシステムの特徴

タイ国家イノベーション庁によれば、2024 年におけるタイのスタートアップは約 2,100 社存在しており、そのうち 700 社がプレシード（創業準備中）段階²、1,400 社が成長または市場投入段階にあるとされています。

また、タイのスタートアップエコシステムの特徴の一つとして、アセアン最大級のデジタル・イノベーション・ハブである「True Digital Park」が挙げられます。同施設には 200 社以上が入居し、5,800 を超えるスタートアップ、起業家、テック企業、投資家、政府機関などがエコシステムの一員として参加しています。True Digital

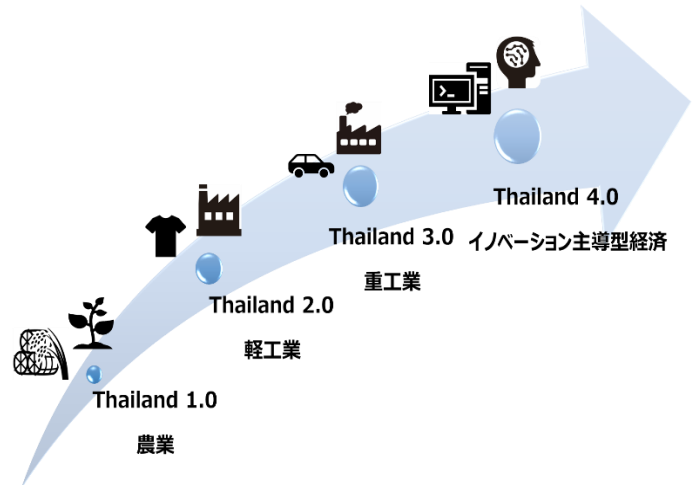
¹ 世界中の都市や国のスタートアップ環境を総合的に評価・ランキングする指標。

² 企業の成長段階に応じて「プレシード」・「シード」・「アーリー」・「ミドル」・「レイター」に区別される。

True Digital Park にあるコワーキングスペース



図2 国家戦略「Thailand 4.0」



(出所) タイ投資委員会の資料を基に筆者作成

Park は、タイにおけるスタートアップ支援の中核拠点として機能しており、起業家同士のネットワーキング強化や官民連携の促進にも大きく寄与しています。

タイでは、このようなスタートアップエコシステムの成長促進に向けた物理的なインフラ整備も徐々に進んでいます。

タイはなぜスタートアップエコシステムの強化に取り組むのか

タイがスタートアップエコシステムの強化に注力する背景には、「中所得国の罠」と呼ばれる経済的課題への対応が求められていることがあります。タイはこれまで、外国直接投資（FDI）や低コストの労働力に依存した輸出主導型の産業構造を基盤として経済成長を遂げてきましたが、近年では賃金の上昇や人口の高齢化などにより、従来の成長モデルが限界に達しつつあります。

このような状況を打開すべく、タイ政府は 2016 年に「Thailand 4.0³」と呼ばれる中長期的な国家戦略を策定しました(図2)。この戦略は、従来の産業構造からの脱却

と、イノベーション主導型経済への転換を目指すもので、持続可能かつ包摂的な経済成長の実現を目的としています。そのなかで、変化への柔軟な対応力と技術革新力を有するスタートアップは、新たな価値創造を担う存在として重要視されており、スタートアップに対する支援強化は主要政策の一つに位置付けられています。

国家イノベーション庁の取組み

国家イノベーション庁は、タイにおけるイノベーションシステムの強化と活性化を担う中核機関です。同庁は、特に成長可能性が高い分野として、「農業・食品」、「医療・健康」、「エネルギー・環境・EV」、「旅行・観光」、「ソフトパワー」の 5 分野を重点支援対象に定めており、スタートアップ支援などを通じて、経済成長や社会課題解決を図っています。

タイ企業と強固なネットワークを築いている同庁では、海外企業の相談内容に応じて、タイ企業とのマッチングも実施しており、過去にはタイ財閥企業とカーボンキャプチャ技術を有する海外スタートアップとの連携を実現した実績

もあります。

同庁との情報交換のなかで、日本企業とタイ企業のマッチング実績は現時点で限定的ではあるものの、先進技術を有する日本企業との連携を希望するタイ企業は多数存在していることから、日本企業とのマッチング支援も一層充実させていきたいとの見解を示していました。

おわりに

タイは「中所得国の罠」からの脱却と持続的な経済成長の実現に向け、イノベーションを基盤とした付加価値の創出に注力しています。なかでもスタートアップは、新たな成長を牽引する存在として期待されており、その強化に向けた取り組みが着実に進められています。

めぶきフィナンシャルグループでは、海外の専門機関とも連携し、お客さまのニーズに応じた最適なマッチング機会の創出に取り組んでいます。ご関心をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

足利銀行バンコク駐在員事務所
田口 直之

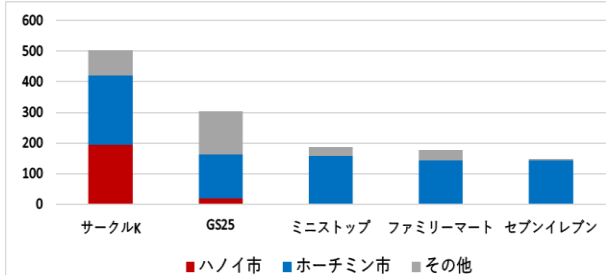
³ 従来のタイの経済や産業の発展を 3 段階に区分し、今後の目標を第 4 段階として明示。

アセアントピック

～コンビニエンスストア市場の現状と今後の展望（ハノイ）～

- 2025年3月に「GS25（韓国系コンビニ）」、6月には「セブンイレブン」がハノイ市に初出店し、現地ではコンビニ各社の今後の店舗展開が大きな注目を浴びています。今回のトピックでは、ベトナムのコンビニ市場の現状と今後の展望について考察します。

(店舗) 主要なコンビニエンスストア 地域別の店舗数



出所: 各社 HP を基に筆者作成 (2025 年 8 月現在)

コンビニ・伝統的商店・路上茶店の価格比較表

販売商品(比較対象)	コンビニ	伝統的商店	路上茶店
軽食(パン)	15,000～30,000VND (約84～168円)	7,000～15,000VND (約39～84円)	7,000～15,000VND (約39～84円)
スナック類	15,000～60,000VND (約84～336円)	5,000～10,000VND (約28～56円)	5,000VND (約28円)
ドリンク(お茶)	17,000VND (約95円)	10,000VND (約56円)	3,000～5,000VND (約16～28円)
調味料(チリソース)	22,000VND (約123円)	18,000VND (約100円)	なし
生活用品(歯磨き粉)	57,000VND (約319円)	46,000VND (約257円)	なし

レート: 1VND=0.0056 円

出所: ハノイ市内店舗へのヒアリングを基に筆者作成



【セブンイレブン(ハノイ2号店)】



【伝統的商店】



【路上茶店(チャーダー)】

コンビニ市場の現状

ベトナムには 2024 年末時点で約 1,400 店舗のコンビニが営業しており、その多くはホーチミン市に集中しています。コンビニの市場規模は小売全体の 0.3%にとどまるものの、現地報道によれば 2023～28 年にかけて年平均 13%以上の成長が予想されています。主要プレーヤーは米国系「サークルK」、韓国系「GS25」、日系「ファミリーマート」や「セブンイレブン」などで、利用者は若者・外国人が中心です。外資系コンビニでは高額な店舗賃料や人件費の負担が足枷となっており、これら課題が店舗網拡大に向けたネックと考えられています。

伝統的商店の特徴

一方、ベトナムでは約 140 万軒

の小規模商店が営業しています。その多くは個人・家族経営であり、「近い」「安い」「顔なじみで安心」といった点が強みとして挙げられます。さらにハノイ市には統計に含まれない路上茶店「チャーダー」が数多くあり、数千ドン(約 20 円)で提供される冷たいお茶や軽食は、会社員や年配層が集う社交の場として人気があります。

北部・南部の消費文化

一般的に北部のベトナム人は、保守的であり節約志向が強く伝統的商店を好む人が多いと言われています。一方南部のベトナム人は、価格よりも利便性を優先する傾向が強く、また夜間まで活動する人が多いことも、コンビニがホーチミン市で広く浸透している要因と考えられます。

今後の展望

所得水準の上昇に伴い、コンビニ市場は今後更に拡大を続けると予想されます。特にハノイ市でコンビニ文化が浸透するためには、①嗜好を反映した商品の販売、②社交の場となるイートインの確保、③柔軟な価格戦略が不可欠と考えられます。実際、セブンイレブンの店舗では、ローカルメニューの導入やイートインスペースの設置等、地域文化に寄り添った取り組みが進められています。

今後ハノイ市においては、伝統的商店やチャーダーなどローカル小売文化とコンビニに代表される近代的店舗が共存する中で、更に市場が広がっていくことを期待しています。

常陽銀行ハノイ駐在員事務所
グエン・ティ・トゥイ

アセアン駐在員コラム



～ シンガポール リサイクル事情（ 飲料容器デポジット制度 ） ～

シンガポール国家環境庁によると、2024 年の家庭ごみのリサイクル率は 11%と過去最低を記録しました。当地は高層住宅が多く、各戸にダストシュートが設置されております。24 時間いつでも分別せずにごみを捨てられる環境にあり、ごみ捨てに関する規制もないため、分別意識が低い現状です。

そのような状況の中、2026 年 4 月から BCRS (Beverage Container Return Scheme：飲料容器デポジット制度) が導入されます。缶やペットボトルの飲料購入時に 10 セントのデポジットが加算され、指定の返却場所で返金される仕組みです。さらに、2026 年 7 月からは、デポジットマーク付きの BCRS 製品のみがシンガポール市場で販売可能となります。

年間を通し気温の高い当地では飲料需要が高く、小額でも積み重なれば負担は大きく、住民のリサイクル意識向上が期待されます。



常陽銀行シンガポール駐在員事務所
関 順



～ 「POP MART グローバルランドマークストア」がオープン！～

2025 年 8 月 8 日、中国発のデザイナーズトイショップ「POP MART」が、バンコクの大型商業施設「ICONSIAM」にオープンしました。世界最大規模を誇ることから、「POP MART グローバルランドマークストア」とも呼ばれるこの店舗は、「水の文化」・「伝統建築」・「多様性の受容」という 3 つのタイらしい要素を取り入れたデザインが特徴です。

店舗入口には、高さ 4 メートルを超えるタイの伝統衣装「チャクリー」を身にまとった人気キャラクター「モリー」の大型像が設置されており、話題のフォトスポットになっています。また、中国国外では初となる「POP MART カフェ」も併設されており、人気キャラクターをモチーフにしたメニューを楽しむことができます。バンコクを訪れる際は、ぜひ足を運んでみてください。



足利銀行バンコク駐在員事務所
ウパラパン・ティティチャヤー



～ ベトナムの伝統的行事「中秋節（Tet Trung Thu）」～

ベトナムの伝統的行事の一つである「中秋節（Tet Trung Thu）」をご存知でしょうか。旧暦 8 月 15 日にあたるこの行事は中国から伝わり、家族団らんや収穫を祝う習わしとして親しまれてきました。この中秋節といえば欠かせないのが「月餅」と呼ばれる焼き菓子です。近年では蓮の実や卵黄、豚肉などを使った伝統的なものに加え、チョコレートや抹茶など現代風の味も登場し、多彩な月餅が販売されています。贈答用としても定番で、立派な化粧箱に収められており、時には中身の月餅より化粧箱の方が高いのではと思うほど豪華なものもあります。また、子どもたちにとっては一年に一度の特別な日で、灯籠を手には歩いたり、獅子舞を楽しむ姿が街を彩ります。ベトナムを訪れる際には、この時期に合わせてベトナムの伝統文化を体験してみたいはいかがでしょうか。



常陽銀行ホーチミントレニー
大井 航平

アセアン各国ニュース

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



(10/6) 9月の製造業PMI、2カ月連続で50を超える

(10/7) 企業の支払い遅延、2四半期連続で悪化

マレーシア



(10/2) 9月製造業PMI、受注連続増も節目届かず

(10/6) 中小企業景況感、3Qは改善 貿易不安は緩和もコスト増が課題

タイ



(10/9) 世銀、タイの25年成長予測2.0%に上方修正

(10/9) 中銀、政策金利を1.50%で据え置き

インドネシア



(10/2) 9月製造業PMI、低下も楽観圏を維持

(10/9) 世銀、25年の成長率予測を4.8%に上方修正

フィリピン



(10/9) 世銀、比の成長予測を据え置き

(10/10) 中銀、政策金利0.25%引下げ

ベトナム



(10/7) 3Q成長率8.23%、好調持続 関税影響薄く、高度成長を視野

(10/9) 25年成長率6.6%、26年は6.1%に鈍化＝世銀

〈その他NEWS〉

シンガポール



(10/2) フィンテック投資が拡大傾向 25年上期87%増、決済など好調で

(10/10) 26年の昇給率見通しは4.3% 前年から横ばい、英社調査

マレーシア



(10/6) プロトン9月販売は1.3万台、シェア最高水準

(10/13) 8月の製造業売上高2.7%増、20カ月連続プラス

タイ



(10/2) 家計債務が微減、対GDP86.8%

(10/6) 外国人観光客減続く、9月は11%減の224万人

インドネシア



(10/9) 世銀、25年の成長率予測を4.8%に上方修正

(10/10) 1～9月の新車販売11%減少 56万台強、好材料なく低迷続く

フィリピン



(10/8) 二輪車販売、1～8月は12%増の123万台

(10/9) 8月失業率、3.9%に改善

ベトナム



(10/7) 新規企業設立、9月は50%増の1.7万社

(10/7) 9月の外国人旅行者、20%増で152万人

(出所 NNA・亜州ビジネス)

めぶきフィナンシャルグループの海外ネットワーク

めぶきフィナンシャルグループでは、お客さまの海外ビジネスをサポートさせていただきます。常陽銀行、足利銀行の海外ネットワークをぜひご活用ください。

常陽銀行
上海駐在員事務所

所在地
上海市延安西路2201号
上海国際貿易中心1901室
電話
+86-21-6209-0258



常陽銀行
シンガポール駐在員事務所

所在地
10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial
Centre,
Singapore, 049315
電話
+65-6225-6543



常陽銀行
ニューヨーク駐在員事務所

所在地
1270 Avenue of the Americas, Suite #555,
New York,
NY 10020 U.S.A.
電話
+1-917-388-2400



常陽銀行
ハノイ駐在員事務所

所在地
5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh
Street, Hanoi,
Vietnam
電話
+84-24-3218-1668



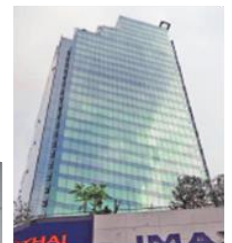
足利銀行
香港駐在員事務所

所在地
Suite 1601, 16th Floor, Tower2, The Gateway,
Harbour City, Kowloon, Hong Kong
電話
+852-2251-9475



足利銀行
バンコク駐在員事務所

所在地
689, Bhira Tower at EmQuartier, 27th Floor,
Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-
nue, Wattana, Bangkok 10110
電話
+66-2-261-2852



Disclaimer

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部

足利銀行市場国際部